

日本臨床検査医学会
平成 21 年度 臨時社員総会だより

日 時：平成 21 年 8 月 26 日（水）17：00～18：00
場 所：札幌コンベンションセンター1F
第 1 会場（特別会議場）

開会に先立ち、名誉会員の福岡良男先生(享年 92 歳：2009/1/8)、石戸谷豊先生(享年 90 歳：1/24)、評議員の深津俊明先生(享年 55 歳：5/12)の逝去を悼み黙祷がなされ、宮澤幸久理事長より挨拶があった。定款により宮澤幸久理事長が議長となり、委任状が 107 通で出席者(約 90 名)と合わせ社員(評議員)数(276 名)の 2 分の 1 以上(138 名以上)の出席を満たしており、この会は成立することが告げられ、議事が進行された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告(高木康 総務理事)

本年度の理事会での主な委員会報告がなされた。

A. 学術推進委員会(矢富 裕 委員長)

・平成 21-22 年度学術推進プロジェクト研究課題募集を行い、8 件の応募があり、委員会では、審査の結果下記 6 件を採択課題と決定した。

B. 編集委員会(矢富 裕 委員長)

・2008 年度学術集会で 127 題の座長推薦論文があり各演者に論文投稿の依頼をした。
・学会賞授賞者への総説依頼をした。
・2009 年度学会賞「優秀論文賞」候補者 2 名(2 題)を学会賞委員会に推薦した。

C. 教育委員会(土屋達行 委員長)

昨年、作成した臨床検査専門医卒後教育研修カリキュラムに沿った評価表の作成を行っている。

D. 臨床検査点数委員会(米山彰子 委員長)

次期診療報酬改定に向けた評議員へアンケートを行い、日本臨床検査専門医会との合同委員会で、提案事項について検討して、平成 22 年度医療技術の評価・再評価に係る提案書について、未収載 2 項目、既収載の 8 項目、削除項目 9 項目を内保連に提出した。これは、報告事項 7. にある。

E. 学会賞委員会(矢富裕 担当理事)

平成 21 年度学会賞受賞候補者の選定を行った。また、規定を検討して応募資格などを明確にした。

F. 標準化委員会(福武勝幸 担当理事)

基準値の設定の検討を行っている。

G. 精度管理委員会(高木康 担当理事)

CAP サーベイの事務局をシノテストから CGI に全面移管を完了した。2009 年度 CAP サーベイの企画を行った。IVD グローバルニュース(季刊誌)の監修を行っている。

H. 倫理委員会(松野一彦 担当理事)

「臨床検査を終了した検体の業務、教育、研究のための使用について」学会の見解の改訂について引き続き検討を行っている。

I. ガイドライン作成委員会(高橋伯夫 担当理事)

臨床検査のガイドライン 2009/2010 を発行予定。

J. 検査項目コード委員会(玉井誠一 担当理事)

JLAC10 コードの新規登録申請を随時、検討後、登録を行い、ホームページに更新している。

K. 臨床検査室医療評価委員会(米山彰子 担当理事)

評価指標計算プログラムのプロトタイプが完成したので、広く試用してもらうため、学会のホームページに掲載準備中である。

L. 遺伝子委員会(村田満 担当理事)

関連団体と協力して「遺伝子関連検査に関する日本版ベストプラクティス・ガイドライン」の検討を行い、また、遺伝子関連検査の検体品質マニュアル、ファーマコゲノミクス(PGx)検査運用指針(案)を作成した。

M. 国際委員会(登 勉 担当理事)

国際学会参加の若手への奨励金の検討を行っている。

N. 会則改定アドホック委員会(高木康 担当理事)

理事の任期について、定款・細則の改定の検討を

行った。

2. 第 57 回日本臨床検査医学会学術集会報告

(東京 2010/9/9~12) (宮澤幸久 会長)

宮澤幸久会長のもと 2010/9/9~12 に京王プラザホテルで開催される予定である。

宮澤幸久会長より一言御挨拶があった。

3. 第 58 回日本臨床検査医学会学術集会報告

(岡山 2011/秋) (小出典男 会長)

小出典男 会長のもと 2011/11/17~20 に岡山コンベンションセンターで開催される予定である。

小出典男会長から一言御挨拶があった。

4. 基金増加の登記・一般社団法人の登記完了について (高木康 総務担当)

基金増加の登記が H20 年 11 月 25 日に完了して、基金として増資した分 (10,035,588 円) と合わせて、基金は 147,000,000 円となった。そして、一般社団法人の登記は、12 月 1 日に変更、12 月 2 日登記に完了したことが報告された。

5. 評議員 (社員) 選出、再認定の細則一部改定について (宮澤幸久 理事長)

社員 (評議員) 選出の細則第 4 章第 9 条 (2) の記述が分かり難いため、判り易く改定した。

また、社員 (評議員) 再認定の細則第 10 条 5 に取得単位について学術集会への 2 回以上の参加を再認定の条件としたことが報告された。

6. 学会賞に関する規定の一部改定について

(宮澤幸久 理事長)

学術賞の応募資格についての記述が分かり難かったため、改定を行った。

学術賞の学術賞、生命科学賞、優秀賞の重複受賞は不可であるが、学術賞、生命科学賞、優秀賞を受賞した者の Bergmeyer-Kawai 賞の応募、受賞は可としたこと、奨励賞と優秀論文賞の受賞について、重複受賞は可能であるが、同一年度内に授与はしないと規定したことが報告された。

7. 支部規約統一案 (雛形) の作成について

(宮澤幸久 理事長)

一般社団法人への移行に伴い、一般社団法人日本臨床検査医学会の組織としての支部規約もそれに合わせて改訂をする必要性が生じたため、会則改訂アドホック委員会で本学会定款に準拠した支部規約雛形を作成した。この雛形を基に、各支部で現状にあわせて支部規約改定を行っていく予定であることが報告された。

8. 平成 22 年度医療技術の評価・再評価に係る提案書提出について (米山彰子 理事)

内保連を通して厚生労働省に、次の項目についての提案書を提出したことが報告された。

未収載として、①IgG サブクラス、②血管内皮機能検査。

既収載として、①外来迅速検体検査加算 (増点)、②骨髄像 (増点)、③生理検査に係る乳幼児加算、④心電図、呼吸機能検査、超音波検査に係る夜間休日加算、⑤微生物学的検査 (増点)、⑥結核菌特異蛋白刺激性遊離インターフェロンγ測定 (増点)、⑦化学的検査 (I) 又は (II) に係る多項目包括規定の見直し。

削除項目 (一部は基本診療料に含める) の提案として、キシローゼ試験 (D-キシロース吸収試験)、便ウロビリノーゲン、尿ポルフィリン体定性、尿ビリルビン定量、尿ウロビリリン定量、動的赤血球膜物性試験 (CPC)、尿中 17-OHCS、17-KS、全血凝固溶解時間測定、血清全プラスミン測定。

9. 臨床検査専門医の受験資格について

(高木 康 理事)

日本専門医制評価・認定機構の専門医制度整備指針に沿った基本領域の学会の専門医制度と認定されたこと、基本的診療科の標榜科として正式に認められたことにより、基本的診療科の専門医として他の基本的診療科の専門医認定資格との整合性を取るため、会員歴、受験資格における他の基本領域学会の専門医資格を有する者の報告書 20 編に関する過渡的処置を廃止し、セミナーなどの参加での報告書提出の免除は原則として行わないことが報告された。次年度から、実施される。

10. 臨床検査管理医の受験資格について

(高木 康 理事)

日本専門医評価・認定機構の基本領域の学会であるため、適切な受験資格について検討して、日本専門医制評価・認定機構の加盟学会の専門医(認定医)資格、あるいは日本医師会認定産業医資格を有すること、会員歴が1年以上あること、臨床検査関連実務に1年以上経験があることと規定して、平成22年度受験より適用することが報告された。

11. CAP サーベイ事務局移管, IVD グローバルニュースについて(高木 康 理事)

CAP サーベイ事務局を、CAP プログラムを施行する日本での施設を増やし、また、項目数を増やすため CAP プログラムを仲介している CGI へ移行したこと、また、学会の精度管理委員会で監修された「臨床検査室グローバルニュース」が季刊誌として発刊され、会員に臨床病理誌と一緒に送付していることが報告された。

12. 第 25 回 WASPaLM 大会について(シドニー 2009/3/13(金)~15(日))(高橋伯夫 理事)

2009年3月13~15日、第25回 WASPaLM 会議が、Royal College of Australasia の年次集会 Pathology Update 2009 と共催でオーストラリアのシドニーで開催され、日本からは8名が出席、International Speaker として3名、一般演題発表1名であった。なお、第26回 WASPaLM 大会は2011年秋にアメリカで開催予定であることが報告された。

13. 第 10 回 ASCPaLM 開催について(モンゴル 2009/9/9(水)~10(木))(高橋伯夫 理事)

2009年9月9~10日、モンゴル ウランバートルで Prof. N. Munkhtuvshin 会長のもと開催予定であることが報告された。

14. その他

特になし。

【審議事項】

1. 平成 22 年度会計予算案について(平成 21 年度中間決算報告を含む)(玉井誠一 理事)

平成 20 年度実績、21 年度中間収支実績が報告され、これを基に平成 22 年度予算案が提示され、承認された。なお、平成 20 年度収支決算報告は、3/29(日)に開催された定時社員総会で承認されており、臨床病理 5 月号に掲載していること、また、官報には 8/31 に掲載される予定であることが報告された。(後頁に掲載)

2. 平成 21 年度事業報告について(高木 康 理事)

平成 21 年度事業報告が提示され、承認された。(後頁に掲載)

3. 平成 22 年度事業計画(案)について

(高木 康 理事)

平成 22 年度事業計画(案)が提示され、承認された。(後頁に掲載)

4. 退任理事, 監事について(宮澤幸久 理事長)

平成 21 年 12 月 31 日をもって任期満了の選挙理事 4 名、熊谷俊一先生、福武勝幸先生、松野一彦先生、石和久先生、また、支部理事の登勉先生、三家登喜夫先生は退任になること、ただし、登先生は、選挙理事でもあり、あと 2 年任期が残っているため理事として残ることになること、また、監事の戸谷誠之先生が任期満了のため退任となることが報告された。

5. 平成 22・23・24・25 年度選挙選出理事・監事について(宮澤幸久 理事長)

平成 22 年度からの理事・監事選出のため、本年 7 月 1 日(水)選挙文書を発送、7 月 18 日(土)消印有効で投票締切をして、7 月 23 日(木)に開票した結果、理事は村上正巳先生、~~ノ~~谷直人先生、前川真人先生、宮地勇人先生が、監事は一山智先生が選出されたことが報告され、選挙選出された理事 4 名、監事 1 名は承認された。

なお、選挙結果は 8 月 10 日にホームページに、また、「臨床病理」8 月号に掲載したことが報告された。

6. 平成 22 年度から交代される支部理事について
(宮澤幸久 理事長)

平成 22 年 1 月 1 日から、東海・北陸支部の支部理事が、登勉先生から北島勲先生に、また、近畿支部の支部理事が三家登喜夫先生から岡部英俊先生に交代となることが報告され、承認された。

なお、細則により、任期はまず 1 期の 2 年(22/1/1～23/12/31)となる。

7. 定款、細則改定案(選挙理事・支部理事・指名理事の任期)について(高木 康 理事)

監事より理事の任期に関して、現定款では 10 年以上の長期に渡り理事に就任する事が可能であることが指摘され、法人として好ましくないとの意見であった。この点に関しての定款、細則の改定の検討を会則改訂アドホック委員会で行い、選挙理事、指名理事、支部理事それぞれを相互に重任することは可能にして、連続して 8 年を越えないこと、および指名理事の任期は理事長の任期を越えない範囲で理事長が決定できるとしたことが報告され、承認された。

8. 平成 22 年度新名誉会員・功労会員の推薦について
(宮澤幸久 理事長)

理事会で推薦された五味邦英先生が名誉会員として承認された。

そして、各支部から推薦され理事会で承認された下記 11 名が功労会員として提示され承認された。川村武先生(東北支部)、家入蒼生夫先生・杉田収先生・戸谷誠之先生・松田重三先生・渡辺伸一郎先生(関東・甲信越支部)、高橋隆幸先生(近畿支部)、影岡武士先生・田港朝彦先生・深田靖彦先生(中国・四国支部)、丸山征郎先生(九州支部)

9. 平成 22 年度新評議員の推薦について
(宮澤幸久 理事長)

各支部から推薦され理事会で承認された下記 9 名が評議員として提示され承認された。

杉本一博先生(東北支部)、浅井さとみ先生・木村孝穂先生(関東・甲信越支部)、石井潤一先生(東海・北陸支部)、飯沼由嗣先生・正木浩哉先生(近畿支部)、大林光念先生・栢森裕三先生・鷹野壽代先生(九州支部)

10. 第 59 回(平成 24 年度 ; 2012 年)学術集会長の推薦について(宮澤幸久 理事長)

支部の順番だと九州支部であったが、現時点での推薦はできないとのことであるため、近畿支部から推薦のあった一山智先生が承認された。一山智先生から一言御挨拶があった。

11. その他(高木 康 理事)

平成 22 年度の理事会、定時社員総会日程について

第 1 回理事会は平成 22 年 3 月 29 日(土)正午より、また平成 21 年度に関する定時社員総会を同日 15 : 00～16 : 00 に開催予定であることが報告された。

閉会の挨拶 (高橋伯夫 副理事長)

高橋伯夫副理事長から閉会の挨拶があり、臨時社員総会は閉会となった。

日本臨床検査医学会
平成 21 年度 総会日より

日 時 : 平成 21 年 8 月 27 日 (木) 14 : 00～15 : 00

場 所 : 札幌コンベンションセンター1F

第 2 会場(大ホール A)

出席数 : 約 150 名

開会に先立ち、名誉会員の福岡良男先生(享年 92 歳 : 2009/1/8)、石戸谷豊先生(享年 90 歳 : 1/24)、評議員の深津俊明先生(享年 55 歳 : 5/12)の逝去を悼み黙祷がなされた。

その後、宮澤幸久理事長より挨拶があり、学術集会長の松野一彦会長が議長となり議事を進行した。

臨時社員総会と同様の報告がなされた。

その後、表彰式(名誉会員および功労会員顕彰、臨床検査専門医認定証授与)があった。

なお、学会賞受賞式は、総会終了後の学術賞受賞講演の冒頭に行った。

最後に高橋伯夫副理事長より挨拶があり総会は閉会された。

一般社団法人日本臨床検査医学会

平成21年度実績中間報告及び平成22年度予算案

		平成20年度		平成21年度		(単位:円) 平成22年度
		a 予算案 (20/1/1-12/31)	b 実績 (20/1/1-12/31)	d 予算案 (21/1/1-12/31)	e 実績中間報告 (21/1/1-6/30)	g 予算案 (22/1/1-12/31)
一般会計						
収入						
1	個人会費納入	32,000,000	32,115,000	32,000,000	29,968,000	32,000,000
2	功勞会員収入	1,000,000	581,000	1,000,000	847,000	1,000,000
3	評議員会費収入	300,000	262,000	290,000	245,000	270,000
4	賛助会費収入	5,000,000	4,699,475	5,000,000	3,549,475	5,000,000
5	臨時会費収入	1,000,000	1,154,000	1,000,000	124,000	1,000,000
6	会費収入計	39,300,000	38,811,475	39,290,000	34,733,475	39,270,000
7	専門医試験受講料収入	2,000,000	1,247,635	2,000,000	940,000	1,500,000
8	専門医登録収入	900,000	828,576	900,000	0	900,000
9	専門医更新料収入	600,000	0	1,000,000	1,362,000	1,000,000
10	専門医収入計	3,500,000	2,076,211	3,900,000	2,302,000	3,400,000
11	管理医セミナー受講料収入	1,800,000	3,257,169	2,000,000	0	0
12	管理医申請収入	2,800,000	142,903	3,500,000	7,080,000	500,000
13	管理医更新料収入	0	38,096	0	0	0
14	管理医受験料収入	0	0	0	330,000	1,500,000
15	管理医収入計	4,600,000	3,438,168	5,500,000	7,410,000	2,000,000
16	許諾使用料収入	500,000	490,546	500,000	224,557	500,000
17	展示会分配金収入	12,000,000	12,000,000	12,000,000	0	12,000,000
18	第54回総会より	0	3,272,476	0	0	0
19	学術集会等関連収入計	12,500,000	15,763,022	12,500,000	224,557	12,500,000
20	外販収入	18,000,000	13,057,450	18,000,000	6,638,846	15,000,000
21	広告収入	7,000,000	4,408,000	6,000,000	1,741,600	5,000,000
22	名簿広告料収入	700,000	0	0	730,400	700,000
23	出版事業収入	1,000,000	769,753	1,000,000	602,900	1,000,000
24	臨床検査ガイドライン冊子収入	1,000,000	0	1,500,000	0	1,500,000
25	検査診断事典編集・著作権使用料等収入	1,600,000	1,819,061	1,600,000	0	1,600,000
26	会議室使用料収入	1,500,000	1,601,776	1,500,000	823,217	1,500,000
27	事業収入	30,800,000	21,656,040	29,600,000	10,536,963	26,300,000
28	受取利息	30,000	85,313	30,000	26,288	20,000
29	雑収入	0	1,393,080	0	21,960	0
30	営業外収益計	30,000	1,478,393	30,000	48,248	20,000
31	収入計	90,730,000	83,223,309	90,820,000	55,255,243	83,490,000

一般社団法人日本臨床検査医学会

平成21年度実績中間報告及び平成22年度予算案

(単位:円)
平成22年度

	平成20年度		平成21年度		平成22年度 予算案 (22/1/1-12/31)
	a 予算案 (20/1/1-12/31)	b 実績 (20/1/1-12/31)	d 予算案 (21/1/1-12/31)	e 実績中間報告 (21/1/1-6/30)	
支出					
32 学会誌発行費用	30,000,000	24,880,182	30,000,000	10,190,377	27,000,000
33 諸会費	1,700,000	1,449,650	1,700,000	782,250	1,700,000
34 名簿制作費・確認作業費・送料	1,000,000	1,553,960	0	0	1,500,000
35 支部活動補助金	3,000,000	2,699,655	3,000,000	2,811,500	2,900,000
36 各種委員会補助金	2,500,000	2,420,602	2,500,000	703,686	2,500,000
37 学進プロジェクト研究費補助金	2,500,000	2,440,477	2,500,000	2,500,000	3,000,000
38 臨床検査ガイドライン冊子制作費補助金	3,000,000	2,856,000	3,000,000	0	0
39 会員証発行費用	2,500,000	2,154,701	500,000	517,929	300,000
40 学術集会補助金	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
41 共催展示会分総会補助金	12,000,000	12,000,000	12,000,000	0	12,000,000
42 第55回学術集会費用	0	74,760	0	0	0
43 専門医卒後研修プログラム	0	0	0	330,000	0
44 専門医認定試験費用	2,000,000	1,952,381	2,000,000	2,000,000	2,000,000
45 臨床検査管理医費用	1,000,000	813,296	2,000,000	1,224,615	1,500,000
46 教育研究会補助GLMWS	150,000	142,858	150,000	0	150,000
47 事業費計	66,350,000	60,438,522	64,350,000	26,060,357	59,550,000
48 給与・手当	5,000,000	4,603,549	5,000,000	1,691,710	5,000,000
49 法定福利費	700,000	541,546	700,000	354,436	700,000
50 会議費	800,000	564,868	800,000	370,268	800,000
51 交通費	3,500,000	2,370,995	3,500,000	1,034,200	2,900,000
52 通信費	1,300,000	770,473	1,300,000	854,288	1,300,000
53 減価償却費	0	38,233	0	16,380	0
54 事務用品費	1,500,000	1,149,980	1,500,000	1,105,751	1,500,000
55 事務委託費	1,500,000	1,200,001	1,500,000	600,000	1,300,000
56 水道光熱費	500,000	305,490	500,000	199,454	400,000
57 地代・家賃	5,700,000	5,383,800	5,700,000	2,691,900	5,700,000
58 事務所更新料	0	0	500,000	448,650	0
59 事務所諸経費	560,000	528,000	600,000	264,000	600,000
60 消耗品費	500,000	164,077	500,000	167,903	400,000
61 顧問料	1,025,000	976,191	1,025,000	976,191	1,025,000
62 接待交際費(慶弔費)	0	0	0	50,000	100,000
63 法人登記変更等費用	200,000	366,166	0	0	200,000
64 事務所備品代	500,000	8,729	500,000	0	500,000
65 予備費	325,000	0	1,045,000	0	115,000
66 一般社団法人への移行関係費	0	0	200,000	0	0
67 雑費	700,000	163,279	700,000	103,768	500,000
68 管理費計	24,310,000	19,135,377	25,570,000	10,928,899	23,040,000
69 雑損失	0	2,639,080	0	464,099	0
70 支払消費税等	0	399,900	0	0	0
71 法人税・住民税・事業税	70,000	100,077	900,000	35,000	900,000
72 営業外損益計・税金等計	70,000	3,139,057	900,000	499,099	900,000
73 費用計	90,730,000	82,712,956	90,820,000	37,488,355	83,490,000
74 当期利益(損失)	0	510,353	0	17,766,888	0
75 前年度繰越金	29,668,228	29,668,228	45,963,620	45,963,620	45,963,620
76 次年度繰越金	29,668,228	30,178,581	45,963,620	63,730,508	45,963,620

一般社団法人日本臨床検査医学会

平成21年度実績中間報告及び平成22年度予算案

(単位:円)
平成22年度

	平成20年度		平成21年度		平成22年度 g 予算案 (22/1/1-12/31)
	a 予算案 (20/1/1-12/31)	b 実績 (20/1/1-12/31)	d 予算案 (21/1/1-12/31)	e 実績中間報告 (21/1/1-6/30)	
特別会計 収入					
77 預金利息	90,000	156,285	90,000	41,712	90,000
78 収入計	90,000	156,285	90,000	41,712	90,000
79 支出					
80 雑費	3,000	300	3,000	300	3,000
81 法人税・住民税・事業税	0	7,813	0	0	0
82 費用計	3,000	8,113	3,000	300	3,000
83 当期利益(損失)	87,000	148,172	87,000	41,412	87,000
84 前年度繰越金	78,325,578	78,325,578	78,450,293	78,450,293	78,450,293
85 次年度繰越金	78,412,578	78,473,750	78,537,293	78,491,705	78,537,293

	平成20年度		平成21年度		平成22年度 g 予算案 (22/1/1-12/31)
	a 予算案 (20/1/1-12/31)	b 実績 (20/1/1-12/31)	d 予算案 (21/1/1-12/31)	e 実績中間報告 (21/1/1-6/30)	
アジア交流基金 収入					
86 預金利息	7,000	11,494	7,000	3,021	7,000
87 収入計	7,000	11,494	7,000	3,021	7,000
88 支出					
89 第10回ASCPaLM(モンゴル)への補助金	0	0	1,000,000	0	0
90 法人税・住民税・事業税	0	574	0	0	0
91 雑費	1,000	0	5,000	0	3,000
92 費用計	1,000	574	1,005,000	0	3,000
93 当期利益(損失)	6,000	10,920	-998,000	3,021	4,000
94 前年度繰越金	5,760,919	5,760,919	5,770,116	5,770,116	5,770,116
95 次年度繰越金	5,766,919	5,771,839	4,772,116	5,773,137	5,774,116

	平成20年度		平成21年度		平成22年度 g 予算案 (22/1/1-12/31)
	a 予算案 (20/1/1-12/31)	b 実績 (20/1/1-12/31)	d 予算案 (21/1/1-12/31)	e 実績中間報告 (21/1/1-6/30)	
学会賞基金 収入					
96 ロシュ・ダイアグノスティクス㈱	1,000,000	1,000,000	0	0	1,000,000
97 第一化学(株)	500,000	0	0	0	0
98 積水メディカル㈱	0	0	500,000	500,000	500,000
99 シスメックス㈱	500,000	500,000	500,000	0	500,000
100 預金利息	35,000	67,736	35,000	17,553	35,000
101 収入計	2,035,000	1,567,736	1,035,000	517,553	2,035,000
支出					
102 学会賞副賞	2,500,000	2,250,000	2,500,000	0	2,500,000
103 法人税・住民税・事業税	0	3,385	0	0	0
104 雑費	10,000	6,700	10,000	400	10,000
105 費用計	2,510,000	2,260,085	2,510,000	400	2,510,000
106 当期利益(損失)	-475,000	-692,349	-1,475,000	517,153	-475,000
107 前年度繰越金	33,590,714	33,590,714	32,887,871	32,887,871	32,887,871
108 次年度繰越金	33,115,714	32,898,365	31,412,871	33,405,024	32,412,871

平成 21 年度事業報告

1. 会議

総会	8月27日
臨時社員総会	8月26日
定時社員総会	3月29日
理事会	3月29日 5月30日 8月8日 12月19日
常任理事会	2月26日 5月12日 7月31日 10月 12月12日

2. 学術集会 第56回学術集会 8月26日～29日（札幌）

3. 刊行物

機関紙	第57巻1～12号	Supplement	第57巻 補冊
名簿	刊行しない		

4. 臨床検査専門医、管理医、研修施設 認定

・臨床検査専門医認定試験	8月1日～2日（慶應義塾大学病院）
・臨床検査専門医更新	1月
・認定研修施設の認定・更新	1月・7月
・臨床検査管理医講習・認定試験	8月29日（札幌）

5. 会員数

	平成20年度	平成21年度(8/10)
会員数(合計)	2,915名	2,792名
正会員	2,683名	2,556名
(評議員)	(280名)	(276名)
学生会員	54名	61名
名誉会員	41名	41名
功勞会員	137名	134名
賛助会員	43社	38社

6. 関連団体（事業）

1) 第18回日本臨床検査専門医会春季大会（富山）	6月12日～13日
2) 第23回JCCLS学術集会（東京）	8月22日
3) 第25回WASPALM（シドニー）	3月13日～15日
4) 第10回ASCPALM（モンゴル）	9月10日～11日
5) 第49回日本臨床化学年次学術集会（長崎）	9月18日～20日
6) 第41回日本臨床検査自動化学会（横浜）	10月8日～10日
7) 日本臨床検査同学院	
・一級臨床検査士試験	10月, 11月
・二級臨床検査士試験	7月11日～8月2日
・緊急検査士試験	7月19日
・遺伝子分析科学認定士試験	6月13～14日
8) 認定検査技師機構 理事会	2月17日
9) 日本専門医制評価・認定機構 社員総会	2月18日 5月28日
協議委員会	5月8日
10) 臨床検査振興協議会 理事会	2月26日 5月28日
	8月20日 11月

平成22年度事業計画(案)

1. 会議

総会	9月10日(予定)
社員総会	3月27日, 9月9日(予定)
理事会	3月, 8月初旬, 12月
常任理事会	適時

2. 学術集会

第57回学術集会 9月9日～12日(東京)

3. 刊行物

機関紙	第58巻1～12号
Supplement	第58巻 補冊
名簿	刊行する

4. 各種委員会活動

「学術推進化委員会」「編集委員会」「教育委員会」「臨床検査点数委員会」
「学会賞委員会」「標準化委員会」「精度管理委員会」「EBLM委員会」
「倫理委員会」「ガイドライン作成委員会」「治験委員会」「検査項目コード委員会」
「広報委員会」「臨床検査室医療評価委員会」「専門医・管理医委員会」「遺伝子委員会」
「国際委員会」「会則改定アドホック委員会」「医療安全委員会」「審査委員会」
「学術集会委員会」

臨床検査専門医・管理医審議会

「研修施設・指導者認定委員会」, 「受験・更新資格審査委員会」,
「試験実行委員会」, 「試験委員会」, 「臨床検査専門医制度検討委員会」

5. 臨床検査専門医・研修施設

・臨床検査専門医認定試験	7月下旬～8月初旬(慶應義塾大学病院)
・臨床検査専門医更新	1月
・臨床検査管理医講習・認定試験	10月～11月(東京)
・認定研修施設の認定・更新	1月・7月

6. 関連事業

- 1) 日本臨床検査専門医会 第20回春季大会 6月
- 2) 日本臨床検査標準協議会 第24回学術集会 8月
- 3) WASPaLM 理事会(ドイツ)
- 4) 日本臨床検査自動化学会 第42回大会(神戸) 10月7日～9日
- 5) 日本臨床化学会 第50回年次学術集会(甲府) 9月23日～26日
- 6) 日本臨床検査同学院 (認定臨床検査士試験:一級、二級、緊急、遺伝子分析科学)
- 7) 認定検査技師機構 (理事会)
- 8) 日本専門医制評価・認定機構(社員総会、協議委員会)
- 9) 日本臨床検査振興協議会(理事会)
- 10) 各種認定制度協議会